

Since 1932



～稻置学園創立80周年～

80th

未来を輝らす、
星稜の人間教育。

星稜
100年
VISION

Seiryo 100 years Vision

星稜の人間教育を、
地域へ、世界へ。



稻置学園、創立80周年。

今日から「100年」に向けて歩みだします。

学校法人稻置学園は、本年をもちまして創立80周年を迎えました。この記念すべき日を迎えることができましたのも、卒業生、在学生、保護者、地域社会の方々など、本学に関わっていただきましたすべての皆様のご理解、ご協力の賜物であると心より感謝申し上げます。

1932年、創設者である稻置繁男初代理事長が「学校は人をつくるところである」という信念を携えて、金沢市彦三の地に北陸明正珠算簿記専修学校として最初の一歩を踏みだしたのが本学園のはじまりです。以来80年間、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」のもとで星稜の人間教育を実践し、北陸を中心とする地域社会へ、およそ57,000人の卒業生を送り出してきました。

これまでの歴史に甘えることなく、この80年をひとつの節目として気持ちをあらたに、稻置学園は「100年」への道のりを歩み始めます。皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

学校法人稻置学園理事長

稻置 美弥子



学園のMISSION

星稜100年へ、私たちが果たすべき使命



MISSION

【建学の精神】 誠実にして社会に役立つ人間の育成

園児・生徒・学生のために

- 自ら学び行動することができる人間を育みます。
- さわやかなコミュニケーションができる人間を育みます。
- ルールを守り、自分の周囲(人間・環境を含め)を思いやる心のある人間を育みます。

地域・社会とともに

- 地域を愛し、社会に貢献できる人間を育てる学園をつくります。
- 地域の活性化・産業の振興に貢献できる学園をつくります。
- 地域の方々とともに学び、連携できる学園をつくります。

達成するために

教職員の行動指針

- 園児・生徒・学生の気持ちを理解し、尊重することができる教職員をめざします。
- 園児・生徒・学生とともに学び、成長を喜び合うことができる教職員をめざします。
- 時代の変化に対応し、常に最善の教育が実践できる教職員をめざします。

80周年に今一度建学の精神に立ち返り、そこに込められた創設者の教育の信念をあらためて確認するとともに、現代の、そして未来の社会環境や教育・研究環境を鑑みながら「学園のミッション」としての明文化を行いました。星稜として「育みたい園児・生徒・学生の姿」、「地域・社会のために在るべき学園の姿」、そしてこれを実現するためには「教職員はどのように行動すべきか」。ここに掲げられているのは、星稜が果たさなければいけない使命です。

学園のVISION

星稜100年へ、私たちがめざす学園の姿へ



【星稜100年ビジョン】

星稜の人間教育を、地域へ、世界へ。

建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」のもと「星稜の人間教育」をさらに発展させ、世界・日本が求めている解決すべき課題や問題に対して自らチャレンジして行動できる人材を育成・輩出することで地域・社会に貢献する、「北陸を代表する総合学園」をめざします。

★星稜100年ビジョン基本方針「5つの柱」

1. グローバルに活躍できる人材を育成する。
2. 総合学園としての一貫した教育を行う。
3. 地域・社会とともに発展できるネットワークづくりを行う。
4. 充実した施設に恵まれたキャンパスづくりを行う。
5. 総合学園を最大限に活かす経営基盤のさらなる確立を行う。

★「星稜コミュニケーションマーク」への思い



「星稜100年ビジョン」実現のために学園の全構成員が心をひとつにして行動するとともに、その意志と姿勢を対外的にも広く伝えていくためのシンボルとして「星稜コミュニケーションマーク」を制定しました。「星稜」の中に輝く星は、「輝く人材を育成する」という誓い、北陸の地で輝く学園でありたいという思いを込めました。今後このマークを学園と地域・社会とのコミュニケーション活動を強化するものとして活用し、学園が一体となって「星稜ブランド」の価値を高めていきます。



VISION基本方針「5つの柱」

5つの方向から、100年の理想を実現します。

I
—
VISION

グローバルに活躍できる
人材の育成を。★

- ★ 国際性豊かな教養人を育成します。
- ★ 留学生受け入れ体制を強化します。
- ★ 生徒・学生の海外留学の機会拡充、
教職員の海外交流を推進します。
- ★ 高い日本語能力を身につけて、
日本文化を深く理解した人間を育成します。

II

VISION

総合学園としての
一貫した教育の実施へ。



III

VISION

地域・社会とともに発展できる
ネットワークの構築を。



★ 幼児教育から高等教育まで人間教育を
重視した「星稜学」を実施します。

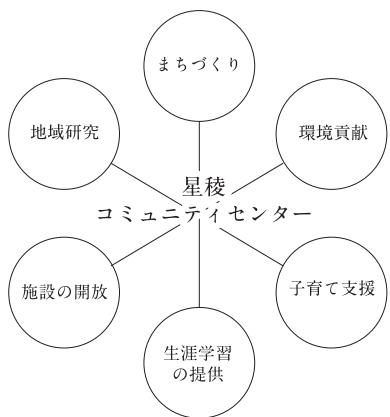
★ 総合学園としての教育連携を
強化します。

★ 幼・小・中・高・大を通して
「星稜」として特徴ある一貫教育体制を
めざします。

★ 「星稜コミュニティセンター」を設立し、
地域貢献の拠点とします。

★ 地域・社会との連携・協力の中で
教育を行うシステムを構築します。

※イメージ図



□センターの機能

- 地域・社会の課題を解決する研究………地域経済総合研究所(シンクタンク)
- 地域の子育て・教育拠点としての活動………地域の教育問題の相談ネットワーク
- 地元密着活動やまちづくりへの貢献
………スポーツ・芸術・文化イベントを開催、地元のまちおこしイベント企画・運営
- 生涯学習機会の提供や施設の開放
- 地域のエコ・ステーション、防災拠点をめざす
- OB／OGとのコミュニティ拠点

IV

VISION

充実した施設・設備に恵まれた
教育環境へ。



V

VISION

総合学園を最大限に活かす
経営基盤の確立を。



- ★ 教育環境を整備するとともに、
学生生活の快適さを高めます。
- ★ 地域に開かれた共存共栄できる
施設環境づくりをめざします。
- ★ 災害に強い安心・安全な
施設環境づくりをめざします。

- ★ 学園経営の中長期計画・財政指標を
策定し実現します。
- ★ 学園の総合力を活かすための
一体的な組織運営を行います。
- ★ 教職員がビジョン実現に向けて
邁進できる環境を整えます。